

札幌新まちづくり計画 第1回環境・都市機能分科会(H15.12.10)議論における整理(キーワード)

(このシートの内容は、各委員の発言を整理・要約したものであり、市民会議分科会全体としての意見ではありません)

<論点1>
まちの歴史・文化を尊重し活かそう!

新しいものと古いものが同居できるまちづくり	古い文化の記憶を残す取組みが大切	まちの歴史・文化を生かしたフィルムコミッションの展開を
古い建物や街並みを保存しながら再活用	建物のリノベーションを支援する制度や仕組みを	

<論点2>
循環型社会をめざした具体的な取組みを進めよう!

今後はサステナブルシティのとらえ方が基本	具体的目標を設定し、着実に実現することが大切	例えばTDMを実践してCO2の排出量削減など
コンパクトシティの実現化に向けた検討が必要	実現方策を見出すための専門家チームの設置	長期的視点に立ったアクションプログラムを作成

<論点3>
パブリックと市民との関わりを深めていこう!

公共空間と個人との関わり方を学ぶ場が必要	学校教育の中でまちづくりの実践プログラムを	市民に浸透させるためのまちづくり読本をつくる
市民がまちを使うために必要な情報が届かない	まちづくり政策を知ってもらうプロモーションが不足	身近な公共施設を市民の情報・活動拠点に活用

当面のターゲット(力点・重点)をどこに置くか

都心を都市再生の象徴として力を入れていこう!

都心でサステナブルシティのモデル事業を展開	都心で環境再生の市民参加プロジェクトを実施
まちの公共空間を市民がゆっくり憩える場に	例えば大通公園や創成川の植林運動など
公共空間をにぎわいや交流が生まれる場に	大通公園、道路空間、地下空間をもっと楽しく
公共施設を市民が管理して24時間開設を	都心の統合小学校を市民・文化活動の拠点に

駅前通の都市空間を魅力的にすることが大切!

都心部をどう魅力的にするかが重要なテーマ	駅前地区と大通地区が共存共栄できる仕掛けを
駅前地下歩行空間は通路ではなく広場・たまり場に	地下空間は安心、環境、景観の面で大切
駅前通を楽しく歩ける通りにして札幌の魅力を発信	駅前面の緑を再生していくための工夫が必要
民間の再開発の中で緑を再生していく取組みを	サンクンガーデン等で地上・地下を一体的空間に

安心・安全なまちづくりの視点が大切!

コミュニティエリアの再生を!

1960~80年代につくられた地区の再生が課題
空洞化・高齢化の進むコミュニティをどう再生するか

地域の中心を活かそう!

広域交流拠点、地域中心核を熟成させる方策を
地域の中心とつながることでエリアの質も上がる